

1. (1)  $\mathbf{u} = \begin{pmatrix} 2 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}, \mathbf{v} = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix}, \mathbf{w} = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -3 \end{pmatrix}$  に対し,  $\mathbf{u} \times (\mathbf{v} \times \mathbf{w}), \mathbf{v} \times (\mathbf{w} \times \mathbf{u}), \mathbf{w} \times (\mathbf{u} \times \mathbf{v})$  を計算せよ .  
 (2) (1) の  $\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w}$  に対し,  $(\mathbf{u} \times \mathbf{v}) \times \mathbf{w} \neq \mathbf{u} \times (\mathbf{v} \times \mathbf{w})$  であることを示せ .
2.  $\mathbf{u}_1, \dots, \mathbf{u}_k$  を  $\mathbb{R}^n$  のベクトルとする .  
 (1)  $\mathbf{u}_1, \dots, \mathbf{u}_k$  が一次独立であることの定義を述べよ . また,  $\mathbf{u}_1, \dots, \mathbf{u}_k$  が一次従属であることの定義を述べよ .  
 (2)  $\mathbf{u}_1, \dots, \mathbf{u}_k$  が一次独立であるとき,  $i = 1, \dots, k$  に対し  $\mathbf{u}_i \neq \mathbf{0}$  であることを示せ .
3.  $\mathbf{a}, \mathbf{u}$  などは全て  $\mathbb{R}^3$  のベクトルとする . 以下を示せ .  
 (1)  $\mathbf{v} \times \mathbf{u} = -\mathbf{u} \times \mathbf{v}$ . また,  $\mathbf{u} \times \mathbf{v} = \mathbf{0} \iff \mathbf{u}$  と  $\mathbf{v}$  が一次従属  
 (2)  $(\mathbf{u} \times \mathbf{v}) \cdot \mathbf{u} = 0, (\mathbf{u} \times \mathbf{v}) \cdot \mathbf{v} = 0$   
 (3)  $\mathbf{u} \times (\mathbf{v} \times \mathbf{w}) = (\mathbf{w} \cdot \mathbf{u})\mathbf{v} - (\mathbf{u} \cdot \mathbf{v})\mathbf{w}$   
 (4)  $\mathbf{u} \times (\mathbf{v} \times \mathbf{w}) + \mathbf{v} \times (\mathbf{w} \times \mathbf{u}) + \mathbf{w} \times (\mathbf{u} \times \mathbf{v}) = \mathbf{0}$  (ヒント : (3) を使う)  
 (5)  $\det(\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w}) = (\mathbf{u} \times \mathbf{v}) \cdot \mathbf{w}$   
 (6)  $(\mathbf{u} \times \mathbf{v}) \cdot \mathbf{w} = (\mathbf{v} \times \mathbf{w}) \cdot \mathbf{u} = (\mathbf{w} \times \mathbf{u}) \cdot \mathbf{v}$  (ヒント : (5) を使う)  
 (7)  $(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot (\mathbf{c} \times \mathbf{d}) = (\mathbf{b} \times (\mathbf{c} \times \mathbf{d})) \cdot \mathbf{a}$  (ヒント : (6) を使う)
4.  $\mathbf{u} = \begin{pmatrix} u_1 \\ u_2 \end{pmatrix}, \mathbf{v} = \begin{pmatrix} v_1 \\ v_2 \end{pmatrix}$  を  $\mathbb{R}^2$  の一次独立なベクトルとする . これらを横に並べて得られる  $2 \times 2$  行列を  $A := \begin{pmatrix} \mathbf{u} & \mathbf{v} \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} u_1 & v_1 \\ u_2 & v_2 \end{pmatrix}$  とおく .  $\mathbf{u}, \mathbf{v}$  を二辺とする平行四辺形の面積は  $|\det A|$  に等しいことを示せ .  $\det A > 0$  になるときと  $\det A < 0$  になるときの違いは何か ?
5.  $\mathbf{u}, \mathbf{v} \in \mathbb{R}^3$  が一次独立であるとき,  $(\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{u} \times \mathbf{v})$  が右手系をなすことを, 以下の手順で示せ (絵を描きながら考えよ) .  
 (1)  $\mathbf{a} = \begin{pmatrix} a_1 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}, \mathbf{b} = \begin{pmatrix} b_1 \\ b_2 \\ 0 \end{pmatrix}, \mathbf{c} = \begin{pmatrix} c_1 \\ c_2 \\ c_3 \end{pmatrix}$  (ただし  $a_1, b_2 > 0, c_3 \neq 0$  とする) の形のベクトルを考える .

$$(\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}) \text{ が右手系をなす} \iff c_3 > 0$$

を, 絵を描いて確かめよ .

- (2)  $(\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w})$  が右手系をなすことと, これらを原点の周りに一斉に回転させて (1) の形の  $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$  ( $a_1 > 0, b_2 > 0, c_3 > 0$ ) に重ねられることは同値であることがわかる . 一方「原点の周りに回転させる」とは,  $\det P = 1$  であるような直交行列  $P$  を掛けることで実現される . 以上のことから次を示せ :

$$(\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w}) \text{ が右手系をなす} \iff \det(\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w}) > 0$$

- (3) 問題 3. (5) で  $\mathbf{w} = \mathbf{u} \times \mathbf{v}$  とおくことにより,  $(\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{u} \times \mathbf{v})$  が右手系をなすことを示せ .

6.  $\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w} \in \mathbb{R}^n$  に対し, 三角不等式

$$\|\mathbf{u} - \mathbf{w}\| \leq \|\mathbf{u} - \mathbf{v}\| + \|\mathbf{v} - \mathbf{w}\|$$

を証明せよ . (ヒント : Cauchy-Schwarz の不等式より  $(\mathbf{u} - \mathbf{v}) \cdot (\mathbf{v} - \mathbf{w}) \leq \|\mathbf{u} - \mathbf{v}\| \|\mathbf{v} - \mathbf{w}\|$  であることを使う)

7. 講義で証明を省略した補題 1, 3 を証明せよ .

(提出の必要はありません)

注意 . 深谷先生の教科書では, ベクトルの長さを  $\|\mathbf{u}\|$  と表しています . この講義では  $|\mathbf{u}|$  と書いています . どちらを使っても構いません .

幾何入門レポート問題 1 (2016 年 4 月 8 日)

担当：境 圭一

$a, u$  などは全て  $\mathbb{R}^3$  のベクトルとする．以下を示せ．

- (i)  $(a \times b) \cdot (c \times d) = (a \cdot c)(b \cdot d) - (a \cdot d)(b \cdot c)$  ( ヒント：4/8 の問題 3.(7) に (3) を代入する )
- (ii)  $u$  と  $v$  のなす角を  $\theta$  とするとき,  $|u \times v| = |u||v| \sin \theta$  ( ヒント：(i) で  $a = c = u, b = d = v$  とおき,  $u \cdot v = |u||v| \cos \theta$  を使う )

(4/15 の 3 限開始時まで提出してください)

[http://math.shinshu-u.ac.jp/~ksakai/16\\_geometry/16\\_geometry.html](http://math.shinshu-u.ac.jp/~ksakai/16_geometry/16_geometry.html)